

令和 9 年度特色選抜 合否判定基準

沖縄県立小禄高等学校

1. 合否判定基準

- (1) 本校への進学に対する目的意識が明確であり、かつ本校での勉学への高い意欲及び適性を有する者を選抜の対象とする。
- (2) 選抜は次の①②③及び④(④は特別枠のみ)を基に、調査書等の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し選抜する。
 - ① 学力検査 [250 点] 各教科 50 点満点×5 教科
 - ・ 一般選抜の学力検査(各教科配点 60 点)のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点(各教科配点 50 点)を成績として取扱う
 - ② 調査書等 [250 点]
 - ア. 教科の評定 (135 点) 全教科 3 年間を合計(評定×9 科目×3 年間)
 - イ. 特別活動 (20 点)
 - ・ 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員、部長などリーダー的活動を加算
 - ・ 校内外の活動を問わず 1 項目を加算対象とする
 - ウ. 部活動/資格取得等 (85 点)
 - ・ 県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動を加算。下記「2. 実績ランク表」に基づく
 - ・ 「諸活動の実績証明のための資料」にて申請した 1 項目を加算対象とする
 - エ. 行動の記録 (10 点)
 - ・ 行動の記録を総合的に判断し、点数化。
 - オ. その他、「総合所見」、「出席状況」も加味する
 - ③ 面接 [A・B・C の三段階で評価]
 - ・ 個人面接(1 人 5 分程度)
 - ・ 志望理由、将来の進路希望、高校生活における目標、中学校における活動状況などを確認
 - ④ 実技審査 [300 点] ※特別枠(部活動活性化)志願者のみ
 - ・ 種目別実技課題審査: 種目ごとに必要な基本動作などを実践的な活動で行う

2. 実績ランク表

諸活動実績		A	B	C	D
(ア)文化活動	音楽	最高賞レベルのもの 全琉音楽祭出場、県代表	最高賞に次ぐもの 県金賞	県銀賞 吹奏楽コンクール B パート 審査員特別賞	県銅賞 吹奏楽コンクール B パート奨励賞
	美術	最高賞レベルのもの 全国優秀賞 県最優秀賞・特選	最高賞に次ぐもの 全国入賞、県優秀賞	全国入選、県優良賞	県入選・佳作
	書道	最高賞レベルのもの 全国特別賞 県最優秀賞・特選	最高賞に次ぐもの 全国特選以上 県金賞・優秀賞	全国入選 県銀賞・優良賞	県銅賞・佳作
	文芸 意見発表等	最高賞レベルのもの 県最優秀賞	県優秀賞	県優良賞	地区優良賞以上
	琉舞等			新人賞以上	
	生徒会活動			生徒会長、副会長	生徒会役員執行部
(イ)スポーツ活動		県代表、県ベスト 4 以上 県選拔選手 県最優秀選手以上	県ベスト 8、地区 2 位以上 県選抜候補選手 県優秀選手	地区ベスト 4 地区選拔選手 地区最優秀選手	地区ベスト 8 地区選抜候補選手 地区優秀選手
(ウ)社会活動 (エ)ボランティア活動			表彰の規模が 全国レベルのもの	表彰の規模が 県レベルのもの	表彰の規模が 地区レベルのもの
(オ)資格・検定・段位取得の活動	英語検定 漢字検定 数学検定 書写検定	2 級以上	準 2 級	3 級	
	パソコン 関連検定		1 級レベル以上	3 級レベル以上	
	文書デザイン検定		1 級以上	2 級	3 級
	書道段位			8 段以上	
	珠算・暗算段位		5 段以上	3 段	1 級
	武道段位		初段以上	1 級	2 級

※ 表にない事項や検討を要する種目については、検討・ランク付けを行い、判定会議において決定する。

※ 部活動外(クラブチーム等)の実績も該当する。

※ 各学年別に開催される大会(1,2 年生大会)や強化大会は、県大会以外は該当しない。